

1 「よりよい保育に向けた言葉がけ」講演

講師：日本保健医療大学講師
木梨 美奈子

1 はじめに

- ① 保育現場での言葉がけの大切さ
- ② 言葉による不適切保育
- ③ 言葉がけの基本

2 子どもへの言葉がけ

- ① 送迎時の言葉がけ
- ② 遊びでの言葉がけ
- ③ 園生活での言葉がけ

3 保護者への言葉がけ

- ① 保護者との対話
- ② 保護者からの相談
(「バイステックの7原則」参考)
- ③ クレームに対応する

4 職場での言葉がけ

- ① 職場でのチームワークの大切さ
- ② 先輩や上司、同僚、への言葉がけ
- ③ パワハラと指導の違い

5 終わりに

- ① 肯定的に子どもを理解し、保育を楽しめる余裕をもつ
- ② よりよい言葉がけを習得するには

参考資料

バイステックの7原則

「バイステックの7原則」とは、個別援助技術にかかわる援助者の行動規範で、アメリカの社会福祉学者、バイステックが定義しました。

保育士が保護者からの相談を受ける際には、「バイステックの7原則」を踏まえて、保護者に言葉がけをしましょう。

1	個別化の原則	クライアントを一人の個人として扱い、その抱える悩みや問題を個別化してとらえる
2	意図的な感情表出の原則	クライアントが自分の感情をありのまま表現できるように援助する
3	統制された情緒的関与の原則	クライアントに対して、援助者は自分の感情をコントロールしながら情緒的にかかわる
4	受容の原則	あるがままを受け入れる
5	非審判的態度の原則	援助者の価値観でクライアントを非難しない
6	自己決定の原則	悩みや課題への対処に関する選択は、援助者ではなくクライアント自身がする
7	秘密保持の原則	クライアントの個人情報を他の人に漏らさない

2 「よりよい保育に向けた言葉がけ」ワーク

講師：日本保健医療大学講師
木梨 美奈子

<子どもへの言葉がけ>

1 否定的言葉がけ → 肯定的言葉がけ

次の言葉がけは、子どもへの「否定的言葉がけ」です
子どもの心に寄り添った「肯定的言葉がけ」に変換してみましょう
(してほしくないこと→してほしいことに変換するとよいです)

例) 「たたかないで」→ 「お口でお話ししてね」「やさしくしようね」

(1) 「走らないで」→

(2) 「立たないで」→

(3) 「さわらないで」→

(4) 「大きな声を出さないで」→

(5) 「よそ見しないで」→

(6) 「手を離さないで」→

(7) 「こぼさないで」→

2 自己肯定感

次の2つの事例は、保育士の言葉がけとして、子どもの自己肯定感を育む観点から、よくない言葉がけです。なぜよくないのか、その理由を説明した上で、よい言葉がけの例を挙げてください

- (1) 運動会のかけっこで1番になった子どもに
保育士 「○○くん、1等賞！ すごいね～」

よくない理由

よい言葉がけの例

(2) 雨が降っている時に

保育士 「何をして遊ぼうか 」

子ども 「お外で砂遊びがしたいよ～」

保育士 「砂遊びはだめよ！ お絵描きして遊びましょう」

よくない理由

よい言葉がけの例

3 遊びの中で

次は、子どもの遊びでの保育士の言葉がけです。
適切なものに○、不適切なものに×を付けましょう

- A 「そろそろお昼ご飯だけど、まだ遊びたいんだね。じゃあ、終わったらおいでね。」
- B お散歩先で遊びに夢中になって帰ろうとしない子どもに「置いていくよ。こわ～い犬が来ても知らないよ。」
- C 友だちを叩いている子どもを偶然に見つけて「○○くん、人を叩いてはだめでしょ！ 謝りなさい！」
- D 動作の遅い子どもに「さあ、だれが早く片付けられるかな？ よ～い ドン！」
- E ままごとで男の子が人形をおぶって料理をしている。保育士が「男の子はそんなことしないでしょ」と言って、鞆とネクタイを手渡す。
- F おもちゃを取られて泣いている子どもに「○○ちゃんは、そのおもちゃと一緒に遊びたかったかもしれないね」
- G 転んで泣いている子どもに「痛かったね。痛い痛い飛んで行け～！ エイツ」
- H 他の子が持っているおもちゃを取ろうとしている子どもに「だめでしょ、人が使っているものをどうして取るの？」
- I 乱暴な言葉を使う子どもに「そんな乱暴な言葉を聞くと、先生悲しいな」
- J 机の上に上がっている子どもに「早く、降りなさい！」

4 食事に関する言葉かけ

次は、食事に関する保育士の言葉かけです。
適切なものに○、不適切なものに×を付けましょう

- A 1歳児に「もぐもぐ、食べようね」
- B 好き嫌いのある子どもに「おいしいのに、どうして食べないの？」
- C 食べるのに時間がかかる子どもに「早く食べなさい」
- D 「○○ちゃんは、お箸の使い方が上手だね」
- E 「あ～おいしい。○○くんも食べてごらん！」
- F 食べないでしゃべっている子どもに「しゃべらないで食べなさい！」
- G 「今日はピーマンを全部食べて、偉いね～。ピーマンさんも喜んでるよ」
- H 食事に集中できない子どもに「お昼ごはんが終わったら、楽しい楽しい紙芝居ですよ」
- I 初めての食材に不安がる子どもに「みんな食べてるでしょ！○○ちゃんも食べなさい」
- J 「お肉、食べられるようになったね。強～い強～い体になるよ。よかったね。」

<保護者への言葉がけ>

5 バイステックの7原則

- (1) 次の【事例】を読んで、X保育士の言葉がけとして、バイステックの7原則を踏まえて、適切な記述を○、不適切な記述に×を付けなさい。

(保育士試験過去問題改題 令和3年前期 子ども家庭福祉 問 19)

【事例】

X保育士は保育所で、2歳児クラスを担当している。

ある日の夕方、迎えの際に、Zちゃんの母親がX保育士に「Zは食が細くてあまりご飯を食べません。わざとこぼしたり、立ち歩いたりして、私はイライラして叱ってばかりです。クラスの他の子どもたちはよく食べていると聞き、食事のたびに強いストレスを感じています」と話をした。

- A 「お母さんが叱りながら食べさせようとするから、Zちゃんは食事が嫌なんだと思います。このままだと発育に遅れが出ますよ」と諭した。
- B 「他のご家庭のお母さんやお父さんもたいへんな状況の中で頑張っておられます。お母さんもZちゃんのために頑張ってください」と励ました。
- C 母親のストレスを受け止めつつ、「年齢的に遊び食べが盛んになる頃なので、あまり気にしなくても大丈夫ですよ。どうすればよいか一緒に考えましょう」と話した。

- (2) 次の【事例】を読んで、X保育士の言葉がけとして、バイステックの7原則を踏まえて、適切な記述を○、不適切な記述に×を付けなさい。
(保育士試験過去問題改題 令和4年前期 子ども家庭福祉 問 19)

【事例】

X保育士は保育所の4歳児クラスの担当である。

このクラスのZ君は、落ち着きがなく急に保育室から飛び出したり、すぐにかっとなって他児をたたいたり、順番を守らず割り込んだりする姿がよく見られる。X保育士はZ君の対応に苦慮しながらも、同僚と協力してZ君が落ち着いて保育所での活動に取り組めるように工夫している。

ある日、Z君の母親がX保育士に「Zはうちでは落ち着きがないし、すぐにかっとなって私や弟をたたき、外出すると急に走り出して人や自転車にぶつかりそうになって目が離せません。どうしたらいいのでしょうか」と相談してきた。

- A 「○○な時は□□と声をかけると落ち着きますよ、一度やってみられたら如何ですか」と保育所での保育士の関わり方や環境構成の工夫を母親に伝えて、母親に対処方法を委ねる。
- B 母親の不安や大変さを受け止めつつ、具体的にどのような時に、どのようなことで困っているのかを質問する。
- C 「保育所でも同じような姿が見られて困っています。お母さんがしっかりと躰をしてください」と諭す。
- D 「Z君は発達障害ですので、すぐに専門機関に行くべきです」と専門機関の受診を提案する。

<職場での言葉がけ>

6 パワハラになる言葉がけ → 指導者としての言葉がけ

次の言葉がけは、後輩への「パワハラになる言葉がけ」です
指導者としての「指導としての言葉がけ」に変換してみましょう

- (1) 「なんでできないの？」 →
- (2) 「全然ダメだな」 →
- (3) 「失敗したら許さないよ」 →
- (4) 「仕事もできないくせに、この給料泥棒が……」
→
- (5) 「そんなこともできないなんて、担任失格ね」
→
- (6) 「何度言ったら分かるの？ 日本語が分からないのね」
→
- (7) 「あなたには、保育士は無理ね。さっさとやめたら」
→

<振り返りワークシート>

特別研修会「よりよい保育に向けた言葉がけ」

1 本日の「よりよい保育に向けた言葉がけ」に参加なさった目的は？

2 これまで、保育業務での言葉がけで、どのようなことに気を付けていましたか

3 研修「よりよい保育に向けた言葉がけ」に参加して、言葉がけについて何か改善しようと思いましたが その改善点は何ですか

4 研修「よりよい保育に向けた言葉がけ」に参加して、言葉がけについて何か学べましたか それはどのようなことですか

2 「よりよい保育に向けた言葉がけ」ワーク 解答例

講師：日本保健医療大学講師

木梨 美奈子

<子どもへの言葉がけ>

1 否定的言葉がけ → 肯定的言葉がけ

次の言葉がけは、子どもへの「否定的言葉がけ」です
子どもの心に寄り添った「肯定的言葉がけ」に変換してみましょう
(してほしくないこと→してほしいことに変換するとよいです)

例) 「たたかないで」→ 「お口でお話ししてね」「やさしくしようね」

(1) 「走らないで」→ 「ゆっくり歩こうね」「静かに歩きましょう」

(2) 「立たないで」→ 「座っていてね」

(3) 「さわらないで」→ 「見るだけにしましょう」

(4) 「大きな声を出さないで」→ 「小さな声でおはなししよう」

(5) 「よそ見しないで」→ 「こっちを見て」「前をよく見てね」

(6) 「手を離さないで」→ 「しっかり手をつないでいてね」

(7) 「こぼさないで」→ 「しっかり持ってね」「もう少し前に置いてね」

2 自己肯定感

次の2つの事例は、保育士の言葉がけとして、子どもの自己肯定感を育む観点から、よくない言葉がけです。なぜよくないのか、その理由を説明した上で、よい言葉がけの例を挙げてください

- (1) 運動会のかけっこで1番になった子どもに
保育士 「○○くん、1等賞！ すごいね～」

よくない理由

1等賞をほめることは、子どもには「2等賞以下ではいけないのか」と次回以降、プレッシャーを与える可能性がある。また、2等賞以下の子どもと比較をしていることにもなる。

結果をほめるのではなく、努力した過程をほめると自己肯定感が育める。

よい言葉がけの例

「○○くん、かっこよかったよ！たくさん練習したからね。また、がんばろうね。」

(2)

雨が降っている時に

保育士 「何をして遊ぼうか 」

子ども 「お外で砂遊びがしたいよ～」

保育士 「砂遊びはだめよ！ お絵描きして遊びましょう」

よくない理由

保育士の問いかけに、子どもが答えて「砂遊び」を提案しているが、保育士は、理由を説明しないで子どもの提案を却下している。子どもとしては提案が受け入れられず、次回から発言する意欲が湧かなくなる可能性がある。

保育士としては、「砂遊び」ができない理由をきちんと説明して、子どもの納得を促す必要がある。また、部屋での遊びも、子どもの意見を取り上げるほうが、子どもの自己肯定感が育める。

よい言葉かけの例

「お外を見てごらん。雨がたくさん降っているから、砂遊びはできないでしょう。砂遊びは今度にして、今日はお部屋で遊びましょう。何して遊ぼうか。」

3 遊びの中で

次は、子どもの遊びでの保育士の言葉がけです。
適切なものに○、不適切なものに×を付けましょう

- A 「そろそろお昼ご飯だけど、まだ遊びたいんだね。じゃあ、終わったらおいでね。」
- B お散歩先で遊びに夢中になって帰ろうとしない子どもに「置いていくよ。こわ～い犬が来ても知らないよ。」
- C 友だちを叩いている子どもを偶然に見つけて「○○くん、人を叩いてはだめでしょ！ 謝りなさい！」
- D 動作の遅い子どもに「さあ、だれが早く片付けられるかな？ よ～い ドン！」
- E ままごとで男の子が人形をおぶって料理をしている。保育士が「男の子はそんなことしないでしょ」と言って、鞆とネクタイを手渡す。
- F おもちゃを取られて泣いている子どもに「○○ちゃんは、そのおもちゃで一緒に遊びたかったかもしれないね」
- G 転んで泣いている子どもに「痛かったね。痛いの痛いの飛んで行け～！ エイツ」
- H 他の子が持っているおもちゃを取ろうとしている子どもに「だめでしょ、人が使っているものをどうして取るの？」
- I 乱暴な言葉を使う子どもに「そんな乱暴な言葉を聞くと、先生悲しいな」
- J 机の上に上がっている子どもに「早く、降りなさい！」

A○ B×（脅し）

C×（一方的である、子どもの話を聞いていない） D○

E×（性差による固定観念である） F○ G○

H×（おもちゃを使いたい気持ちに共感せず、頭ごなしに叱っている）

I○

J×（命令的である、机に上がってはいけない理由も伝える）落ちて頭をうつと危ないよ、など」

4 食事に関する言葉がけ

次は、食事に関する保育士の言葉がけです。
適切なものに○、不適切なものに×を付けましょう

- A 1歳児に「もぐもぐ、食べようね」
- B 好き嫌いのある子どもに「おいしいのに、どうして食べないの？」
- C 食べるのに時間がかかる子どもに「早く食べなさい」
- D 「○○ちゃんは、お箸の使い方が上手だね」
- E 「あ～おいしい。○○くんも食べてごらん！」
- F 食べないでしゃべっている子どもに「しゃべらないで食べなさい！」
- G 「今日はピーマンを全部食べて、偉いね～。ピーマンさんも喜んでるよ」
- H 食事に集中できない子どもに「お昼ごはんが終わったら、楽しい楽しい紙芝居ですよ」
- I 初めての食材に不安がる子どもに「みんな食べてるでしょ！○○ちゃんも食べなさい」
- J 「お肉、食べられるようになったね。強～い強～い体になるよ。よかったね。」

A○ B×（「これ、1つだけ食べてごらん！」など、子どもが頑張っ

て食べようと思えるような言葉がけが必要）

C×

（「今日はいっぱい食べられたね、もう少し食べられるかな」など、励ま

しが必要）

D○ E○

F×（「お口は食べる方に使いましょう」などしゃべっている楽しさを損なわ

ないで自然と食べることを促す）

G○ H○

I×（初めて口に

する食材は不安な

ものです。「ちよ

っと触ってみよう

か」などと少し

ずつ慣れさせま

しょう

J○

<保護者への言葉がけ>

5 バイステックの7原則

- (1) 次の【事例】を読んで、X保育士の言葉がけとして、バイステックの7原則を踏まえて、適切な記述を○、不適切な記述に×を付けなさい。

(保育士試験過去問題改題 令和3年前期 子ども家庭福祉 問19)

【事例】

X保育士は保育所で、2歳児クラスを担当している。

ある日の夕方、迎えの際に、Zちゃんの母親がX保育士に「Zは食が細くてあまりご飯を食べません。わざとこぼしたり、立ち歩いたりして、私はイライラして叱ってばかりです。クラスの他の子どもたちはよく食べていると聞き、食事のたびに強いストレスを感じています」と話をした。

- A 「お母さんが叱りながら食べさせようとするから、Zちゃんは食事が嫌なんだと思います。このままだと発育に遅れが出ますよ」と諭した。
- B 「他のご家庭のお母さんやお父さんもたいへんな状況の中で頑張っておられます。お母さんもZちゃんのために頑張ってください」と励ました。
- C 母親のストレスを受け止めつつ、「年齢的に遊び食べが盛んになる頃なので、あまり気にしなくても大丈夫ですよ。どうすればよいか一緒に考えましょう」と話した。

A × (非審判的態度の原則違反)

B × (個別化の原則違反)

C ○ (受容の原則、統制された情緒的関与の原則 を踏まえている)

(2) 次の【事例】を読んで、X保育士の言葉がけとして、バイステックの7原則を踏まえて、適切な記述を○、不適切な記述に×を付けなさい。

(保育士試験過去問題改題 令和4年前期 子ども家庭福祉 問 19)

【事例】

X保育士は保育所の4歳児クラスの担当である。

このクラスのZ君は、落ち着きがなく急に保育室から飛び出したり、すぐにかっとなって他児をたたいたり、順番を守らず割り込んだりする姿がよく見られる。X保育士はZ君の対応に苦慮しながらも、同僚と協力してZ君が落ち着いて保育所での活動に取り組めるように工夫している。

ある日、Z君の母親がX保育士に「Zはうちでは落ち着きがないし、すぐにかっとなって私や弟をたたくし、外出すると急に走り出して人や自転車にぶつかりそうになって目が離せません。どうしたらいいのでしょうか」と相談してきた。

- A 「○○な時は□□と声をかけると落ち着きますよ、一度やってみられたら如何ですか」と保育所での保育士の関わり方や環境構成の工夫を母親に伝えて、母親に対処方法を委ねる。
- B 母親の不安や大変さを受け止めつつ、具体的にどのような時に、どのようなことで困っているのかを質問する。
- C 「保育所でも同じような姿が見られて困っています。お母さんがしっかりと躰をしてください」と諭す。
- D 「Z君は発達障害ですので、すぐに専門機関に行くべきです」と専門機関の受診を提案する。

A○ (自己決定の原則を踏まえている)

B○ (受容の原則を踏まえている)

C× (非審判的態度の原則違反)

D× (非審判的態度の原則違反)

<職場での言葉がけ>

6 パワハラになる言葉がけ → 指導者としての言葉がけ

次の言葉がけは、後輩への「パワハラになる言葉がけ」です
指導者としての「指導としての言葉がけ」に変換してみましょう

- (1) 「なんでできないの？」 → 「どうすればいいかよく考えてみよう」
- (2) 「全然ダメだな」 → 「この部分はすごく良いよ」
- (3) 「失敗したら許さないよ」 → 「大丈夫！きっとできる」
- (4) 「仕事もできないくせに、この給料泥棒が……」
→ 「最初はそんなものよ、気を落とさないで頑張りましょう！」
- (5) 「そんなこともできないなんて、担任失格ね」
→ 「担任としてしっかりやっていきましょう」
- (6) 「何度言ったら分かるの？ 日本語が分からないのね」
→ 「何度でも、分かるまで私に聞いてね」
- (7) 「あなたには、保育士は無理ね。さっさとやめたら」
→ 「保育士として自信がもてるまで、頑張ってくださいね」

<振り返りワークシート> 自由解答につき解答例はありません

特別研修会「よりよい保育に向けた言葉がけ」

1 本日の「よりよい保育に向けた言葉がけ」に参加なさった目的は？

2 これまで、保育業務での言葉がけで、どのようなことに気を付けていましたか

3 研修「よりよい保育に向けた言葉がけ」に参加して、言葉がけについて何か改善しようと思いましたが その改善点は何ですか

4 研修「よりよい保育に向けた言葉がけ」に参加して、言葉がけについて何か学べましたか それはどのようなことですか